



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 日本化学工業株式会社

コード番号 4092 URL <http://www.nippon-chem.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鈴木 義博

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 佐藤 学

TEL 03-3636-8038

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	24,795	△5.8	△639	—	△874	—	△868	—
24年3月期第3四半期	26,312	△18.4	△295	—	△486	—	△44	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 △814百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △383百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年3月期第3四半期	△9.87	—
24年3月期第3四半期	△0.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	66,751	—	29,801	—	44.6	—
24年3月期	62,296	—	30,630	—	49.1	—

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 29,801百万円 24年3月期 30,616百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年3月期	—	3.00	—	0.00	3.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年3月期の期末配当予想額については、未定であります。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	32,800	△5.0	△1,000	—	△1,300	—	△1,400	—	△15.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	89,227,755 株	24年3月期	89,227,755 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	1,248,409 株	24年3月期	1,247,891 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	87,979,401 株	24年3月期3Q	87,980,325 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 平成25年3月期の期末配当予想額については、今後の業績動向をさらに見極める必要があり、現時点では未定であります。今後、配当予想額の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災からの復興需要等を背景に緩やかな持ち直しの兆しがみられたものの、欧州の金融不安、経済の悪化による中国、新興国の景気減速及び円高基調で推移しました。

このような環境下で当社は、成長市場・分野への集中とグローバル化の強化に取り組んでまいりましたが、電子材料関連業界の不振、輸出環境の大幅な悪化等により収益は大きく落ち込みました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は247億9千5百万円（前年同期比15億1千7百万円減）となり、経常損失は8億7千4百万円（前年同期は経常損失4億8千6百万円）となりました。

この経常損失に事業再編損等の特別損失合計4億9千1百万円及び法人税等3千2百万円を加え、更に法人税等調整額5億3千万円等を計上した結果、四半期純損失は8億6千8百万円（前年同期は四半期純損失4千4百万円）となりました。

当社グループのセグメント別の概況は、次の通りとなりました。

なお、第2四半期連結会計期間より、情報の共有化を進め、今後の成長路線を再構築することを目的とした会社組織の変更に伴い、報告セグメントを「無機化学品事業」、「有機化学品事業」、「電材事業」及び「賃貸事業」の4区分から、「化学品事業」、「機能品事業」及び「賃貸事業」の3区分に変更しております。

①化学品事業

化学品事業では、クロム製品は鉄鋼・めっき業界向け出荷数量が減少し、また円高基調継続により輸出が落ち込んだため売上高は減少しました。燐製品は一部スマートフォン向けが堅調に推移したものの、全体では液晶・半導体業界の低迷の影響を受け、売上高は減少しました。シリカ製品は紙パルプ業界及び土木関連事業の受注が回復せず、売上高は減少しました。

②機能品事業

機能品事業では、農薬は出荷が好調に推移し、売上高は増加しました。ホスフィン及びその誘導体は半導体業界の落ち込みに回復が見られず、また期待していた新規用途が伸びず、売上高は減少しました。バリウム製品は液晶向け製品が回復し、また電子材料向けに一部製品が伸び、売上高は増加しました。リチウムイオン電池用正極材料はスマートフォン向けに大幅に出荷が増え、売上高は増加しました。電子セラミック材料は電子材料部品の不振と小型化が続き、売上高は減少しました。回路材料は大型パネル向けやPC向けが減少したものの、スマートフォン向けが順調に推移し、売上高は増加しました。

③賃貸事業

賃貸事業については、堅調に推移しました。

④その他

空調関連事業については、需要の回復が鈍く、設計・施工業務が減少しました。書店事業については、業界の動向を反映して僅かに減少しました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ44億5千5百万円増加し、純資産は8億2千8百万円減少しております。その結果、自己資本比率は49.1%から44.6%となっております。

増減の主なものは次の通りであります。

流動資産では、現金及び預金が10億8千2百万円増加し、受取手形及び売掛金が3億4百万円減少し、原材料及び貯蔵品が3億3百万円増加し、繰延税金資産が3億8千9百万円増加しております。

固定資産では、有形固定資産が1億9千5百万円増加し、無形固定資産が21億5千9百万円増加しております。

流動負債では、支払手形及び買掛金が8億1千4百万円減少し、短期借入金が23億7千6百万円減少し、リース債務が6億4千9百万円増加し、その他流動負債が28億1千3百万円増加しております。

固定負債では、長期借入金が37億4百万円減少し、リース債務が80億7千9百万円増加しております。

株主資本では、利益剰余金が8億6千8百万円減少しております。

その他の包括利益累計額では、その他有価証券評価差額金が5千3百万円増加しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の第3四半期累計期間連結業績は、化学品事業におきましては主要製品の出荷先である鉄鋼・めっき業界や液晶・半導体業界が依然として低迷しております。また、機能品事業におきましては半導体業界の落ち込みに回復の兆候が見られず、期待していた新規用途も思うように伸びませんでした。第4四半期以降もこのような傾向は続くと思われまます。それに加えて、既に公表しております「希望退職の募集」に伴い発生する費用約3億円を特別損失に計上することから、平成25年3月期通期連結業績予想につきまして、前回予想を下回る見込みとなったため修正いたしました。

なお、平成25年2月12日付「特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ」にて別途同様の公表をしております。

平成24年11月6日の決算短信で発表しました通期の連結業績予想との差異は以下の通りです。

平成25年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (平成24年11月6日発表)	35,000	0	△250	△500	△5.68
今回発表予想 (B)	32,800	△1,000	△1,300	△1,400	△15.91
増減額 (B-A)	△2,200	△1,000	△1,050	△900	—
増減率 (%)	△6.3	—	—	—	—
(参考) 前期 (平成24年3月) 実績	34,519	△792	△1,049	△511	△5.82

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,788	5,870
受取手形及び売掛金	9,701	9,397
商品及び製品	4,231	4,521
仕掛品	2,547	2,296
原材料及び貯蔵品	2,612	2,916
繰延税金資産	1,170	1,559
その他	624	791
貸倒引当金	△18	△17
流動資産合計	25,658	27,336
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	31,097	31,242
減価償却累計額	△17,629	△18,076
建物及び構築物（純額）	13,467	13,166
機械装置及び運搬具	54,622	2,051
減価償却累計額	△46,197	△1,099
機械装置及び運搬具（純額）	8,425	952
土地	7,929	7,940
リース資産	49	8,946
減価償却累計額	△28	△641
リース資産（純額）	21	8,304
建設仮勘定	511	227
その他	5,949	6,082
減価償却累計額	△5,052	△5,226
その他（純額）	897	856
有形固定資産合計	31,252	31,447
無形固定資産		
のれん	—	2,163
その他	402	398
無形固定資産合計	402	2,562
投資その他の資産		
投資有価証券	3,170	3,266
長期貸付金	353	369
繰延税金資産	39	70
その他	1,551	1,832
貸倒引当金	△132	△132
投資その他の資産合計	4,982	5,406
固定資産合計	36,637	39,415
資産合計	62,296	66,751

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,318	4,504
短期借入金	10,198	7,821
リース債務	10	660
未払法人税等	70	4
未払消費税等	67	14
賞与引当金	299	103
設備関係未払金	1,387	1,135
その他	3,240	6,054
流動負債合計	20,593	20,299
固定負債		
長期借入金	6,204	2,500
リース債務	11	8,091
繰延税金負債	2,339	2,244
退職給付引当金	1,465	1,566
その他	1,051	2,248
固定負債合計	11,072	16,650
負債合計	31,665	36,950
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,757	5,757
資本剰余金	2,269	2,269
利益剰余金	22,542	21,674
自己株式	△349	△349
株主資本合計	30,219	29,351
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	429	483
為替換算調整勘定	△32	△32
その他の包括利益累計額合計	397	450
少数株主持分	13	—
純資産合計	30,630	29,801
負債純資産合計	62,296	66,751

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	26,312	24,795
売上原価	22,185	21,368
売上総利益	4,126	3,426
販売費及び一般管理費	4,422	4,065
営業損失(△)	△295	△639
営業外収益		
受取利息及び配当金	67	69
持分法による投資利益	33	23
その他	141	111
営業外収益合計	242	204
営業外費用		
支払利息	235	219
その他	197	219
営業外費用合計	432	439
経常損失(△)	△486	△874
特別損失		
固定資産除却損	117	74
投資有価証券評価損	—	69
事業再編損	—	347
特別損失合計	117	491
税金等調整前四半期純損失(△)	△604	△1,365
法人税、住民税及び事業税	63	32
法人税等調整額	△624	△530
法人税等合計	△560	△498
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△43	△867
少数株主利益	1	0
四半期純損失(△)	△44	△868

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△43	△867
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△333	53
持分法適用会社に対する持分相当額	△6	△0
その他の包括利益合計	△340	53
四半期包括利益	△383	△814
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△384	△815
少数株主に係る四半期包括利益	1	0

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化学品事業	機能品事業	賃貸事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	13,089	8,662	383	22,135	4,177	26,312	—	26,312
セグメント間の内部売上高 又は振替高	16	—	20	36	171	208	△208	—
計	13,105	8,662	404	22,172	4,348	26,520	△208	26,312
セグメント利益又は損失(△)	△108	△657	225	△539	229	△309	14	△295

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、空調関連事業及び書店事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化学品事業	機能品事業	賃貸事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	12,154	8,994	384	21,534	3,260	24,795	—	24,795
セグメント間の内部売上高 又は振替高	15	—	20	36	165	202	△202	—
計	12,170	8,994	405	21,570	3,426	24,997	△202	24,795
セグメント利益又は損失(△)	△55	△846	236	△665	10	△655	15	△639

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、空調関連事業及び書店事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

従来、「その他」に含めていた「賃貸事業」については、量的な重要性が増したため、前連結会計年度より報告セグメントとして記載する方法に変更しております。また、第2四半期連結会計期間より、情報の共有化を進め、今後の成長路線を再構築することを目的とした会社組織の変更に伴い、報告セグメントを「無機化学品事業」、「有機化学品事業」、「電材事業」及び「賃貸事業」の4区分から、「化学品事業」、「機能品事業」及び「賃貸事業」の3区分に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「化学品事業」セグメントにおいて、日本電工株式会社よりクロム塩事業（副生芒硝を含む）を譲受けております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては2,200百万円であります。